



たんぽぽ

八代市教育サポートセンター

子ども支援相談室だより

令和7年 11月号

文責 古杉 敬子

『子供に学ぶ』ということは・・・

相談に来られる保護者さまが、
「子育てって、難しいですね。子供から学ぶことばかりです」
「子供から気づかされました」
などと、よく言われます。

今月は、『子供に学ぶ』ということを取り上げます。

参考となるエピソードが『子どもに学ぶ家庭教育 2024』にありましたので、一部抜粋して紹介します。



私には、長女の心を傷つけてしまった苦い経験があります。

長女が大切にしていた折り紙を勝手に捨てたことがありました。

折り紙が大好きな長女は、遊んだあと、片付けないことがよくありました。

「遊び終わったら、ちゃんとお片付けするんだよ！」

と注意するのですが、

「うん」

と生返事をくり返すばかり。

そんなやりとりが、何回も続きました。

その日も、何度注意してもそのままだったので、私は何も言わず、机の上にあったぐしゃぐしゃの折り紙をゴミ箱に捨ててしまったのです。

すると、そのことに気づいた長女はその場で大泣きしました。折り紙の裏に、長女が描いたキャラクターの絵があったというのです。

一見するとゴミのような折り紙が、長女にとっては大切な宝物だったのです。

いくら“しつけ”とはいえ、やはり長女に

「これ捨ててもいい？」

と、確認するべきだったと反省させられました。

書籍引用：書籍『子どもに学ぶ家庭教育 2024』 株式会社 佼成出版社

みなさまの中にもこれに似たようなことを思いだされた方がいらっしゃるかもしれませんね。

相手が、いくつであっても行動を起こす前には、相手の確認をとることは大事です。

親が子供への対応で素直に反省されることは、子供への愛情があるからだと思います。
そんな保護者さまは、素敵です！！※

子供と過ごす毎日は、ジェットコースターみたいなもの・・・。

楽しい時間もたくさんあるけれど、親として悩むこともたくさんありますね。

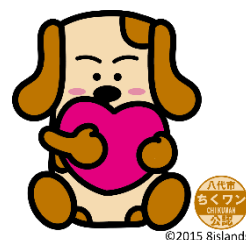
けれど、子供の気持ちを知ること、ますます愛おしく思えるはずです。
さて、『子供に学ぶ』という言葉が聞かれたことはありませんか？
聞いたことがあるという方も多くいらっしゃると思いますが、どのようなことをいうのでしょうか…。

子供は、どんなに小さくて幼くても尊い人格を持った一人の人間です。子供なりに自分の考え、意思を持っています。

ついつい親は、「こうなってほしい」「これまでの自分の経験上、こうした方がいい」という思いが強く、どうしても自分の考えを押しつけてしまいがちです。

でも、子供はどう感じているのでしょうか。その前に子供の気持ちを聴いてみてはどうでしょうか。

エピソードにもあったように親の考えとは違う、子供の考えがあることがわかり、ハッとさせられたという経験をお持ちの方もいらっしゃると思います。



『子供に学ぶ』ということは…

子供が、今何を考えどんな気持ちでいるのか、求めているのは何なのか、子供の気持ちを素直に聴くこと。

そして、子供の気持ちに寄り添い、親自身が子供へのかかわりを振り返ること。

また、子供がもし、間違っていたら、頭ごなしに叱るのではなく、きちんと話を聴いて親の気持ちをしっかり伝えて、わかり合うことが大切です。

家庭が笑顔いっぱい、安心できる場所にありますように…

*メール配信で読みづらい場合は、各校区のコミセンに印刷した『たんぼぼ』を置いています。どうぞ、ご利用ください！

**相談室では、困っていること、不安なこと、どんな小さなことでも相談をお受けします。
話を聴いてもらうと心も落ち着き、子供にも優しくなれるはずです。**

●相談方法

・電話 0965-33-6145(相談室専用)

・メール kodomo-sien@yatsushiro.jp
(または、右の二次元コードから)



・来所面談 やつしろ子ども支援相談室
(八代市役所4階 教育サポートセンター内)
八代市松江城町 1-25

●相談時間 月～金曜日 午前9時～午後2時

